

# 溶連菌感染症

## ●溶連菌ってなんですか？

溶連菌は正しい名前を「溶血性連鎖球菌（ようけつせいれんさきゅうきん）」といい、細菌の一種です。

感染原因として最も多いのは飛沫感染で、せきやくしゃみをした時に出た鼻水や唾液、たんなどから直接、またはそれらによって汚れた物を介して間接的に感染します。感染から発症までの潜伏期間は2～3日とされています。

## ●どのような病気があるんでしょうか？

この細菌によって引き起こされる病気はさまざまです。高熱や発疹、喉の痛みなどが主な症状ですが、主に感染年齢や部位によって以下のような病気が引き起こされます。

- ◆ 扁桃炎（咽頭炎）
- ◆ 中耳炎
- ◆ 肺炎
- ◆ 腎炎
- ◆ とびひ
- ◆ リウマチ熱 など

## ●重症化には要注意！！

重症化する事で近年では「人食いバクテリア感染症」で知られるようになった「壊死性筋膜炎（えしせいきんまくえん）」や「毒素性ショック症候群」など命に関わる病気になることもありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

## ●予防はどうしたらいい？

飛沫感染になるので、マスクの着用と手洗い、うがいをしっかりと行うことを心がけてください。

また、家庭では家族内での感染を繰り返すことがあるので、医療機関へは家族で受診し感染を広げさせないようにしましょう。

